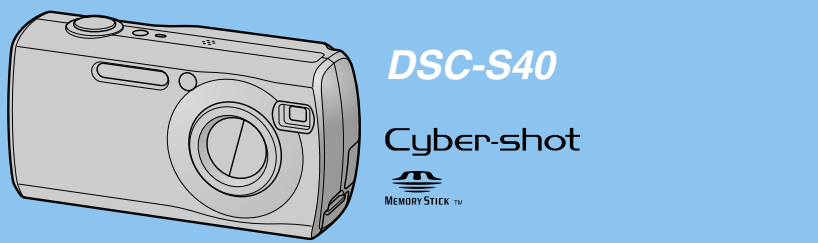



サイバースhots取扱説明書

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
本書と別冊の「安全のために」「サイバースhots取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読み
のうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してく
ださい。



- あわせてご覧ください。**
- 「Cyber-shot Life」(付属CD-ROM) (Windowsのみ対応)
準備から活用まで、サイバースhotsの楽しみかたをムービーで紹介します。
 - 取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。
 - サイバースhotsの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの
接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



2589974010

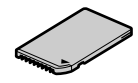
付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- 単3形アルカリ電池(2)
- USBケーブル(1)
- リストストラップ(1)

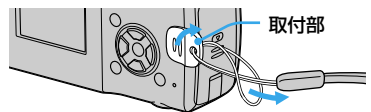
- サイバースhotsアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバースhots取扱説明書 はじめにお読みください (本書)(1)
- サイバースhots取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 安全のために(1)
- 保証書(1)

**"メモリースティック"は付属
しておりません**
本機には32MBの内蔵メモ
リーを搭載しておりますが、
"メモリースティック"の購入
をおすすめいたします。



ご使用前に行ってください

- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。
また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。

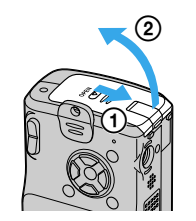


■ サイバースhotsオフィシャルWEBサイト
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問
テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979 (おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時(年末/年始/祝日を除く)

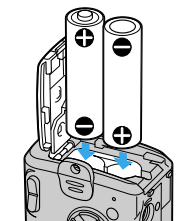
1 電池を準備する

電池を入れる。

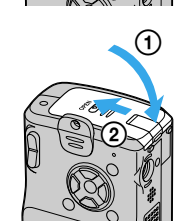


②

OPENボタンを押しながら、電池カバーを開ける。




④、⑤を合わせ、入れる。




①

閉じる。

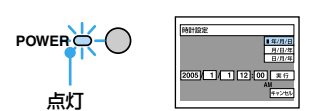
2 電源を入れ、時計を合わせる

① モードスイッチを「」にする。



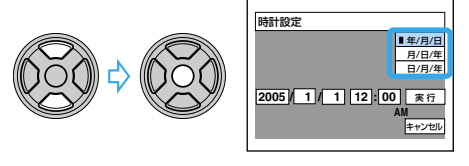
② POWERボタンを押す。

点灯

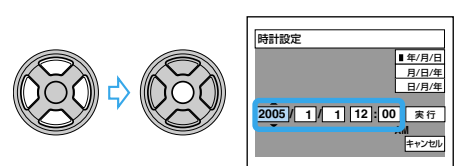


③ コントロールボタンで、時計を合わせる。

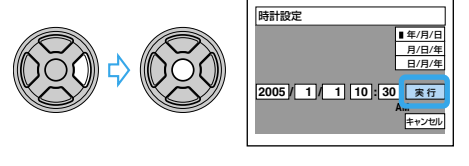
1 ▲▼で日付表示順を選び、●で決定する。



2 ◀▶で設定する項目を選び、▲▼で数値を設定して●で決定する。

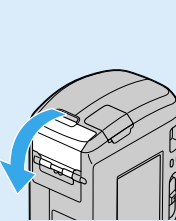


3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。

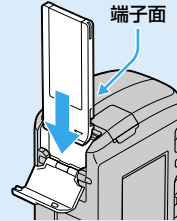


・時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 “メモリースティック”(別売り)を入れる



端子面



「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。





“メモリースティック”が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー (32MB)に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」 20ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める

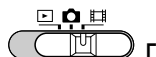
① モードを選ぶ。


静止画のとき




「」にする。

動画のとき

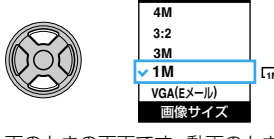


「」にする。


② /画 (画像サイズ) ボタンを押す。

③ 画像サイズを選ぶ。

▲▼で画像サイズを選ぶ。



・静止画のときの画面です。動画のときは[640 (ファイン)] (“メモリースティック PRO”のみ)、[640 (スタンダード)]、[160]から選びます。

④ /画 (画像サイズ) ボタンを押して、設定を終了する。






アルカリ電池を使うときは
使用上のご注意をよくお読みください。→別冊「活用編・困ったときは」 87ページ

付属の電池以外を使うには
単3形ニッケル水素電池/単3形ニッケルマンガン電池がお使いになります。→別冊「活用編・困ったときは」 87ページ

・ニッケル水素電池は繰り返し充電してお使いになります。


コンセントの電源で本機を使うときは
別売りのACアダプター AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→別冊「活用編・困ったときは」 13ページ。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

電池の残量を確認するときは
POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示					
電池残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐでなくなる	新しい電池または充電済みのニッケル水素電池と交換する(警告表示が点滅)	

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池使用時は、電池残量表示が正しく表示されないことがあります。
- ACアダプター (別売り)使用時は電池残量表示は表示されません。

電池を取り出すときは
電池カバーを上に向けて開ける。
電池が落下しないようにご注意ください。

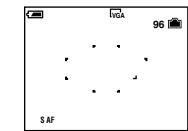
時計合わせをやり直すときは
 (セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順③を行う。
→別冊「活用編・困ったときは」 49ページ

時刻表示について

- 手順②-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
(お買い上げ時の設定)
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- カバーが開きレンズ部が動くので、レンズ部に触れないでください。
また、電源を切った状態でレンズが出たまま長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。



電源を切るときは
POWERボタンを再び押す。

- 電池使用時に、電源を入れたまま一定時間操作をしないと、電池の消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

静止画の画像サイズについて
「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」 10ページ

静止画画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
4M (2304 × 1728)	A4サイズやA5サイズの用紙に高精細プリント	<div>少ない</div> <div>↑↓</div> <div>多い</div>	<div>精細</div> <div>↑↓</div> <div>粗い</div>
3:2 (2304 × 1536) *			
3M (2048 × 1536)			
1M (1280 × 960)			
VGA (Eメール) (640 × 480)	写真のL判にプリント より多くの画像を撮影 電子メールで送る/ホームページで使用		

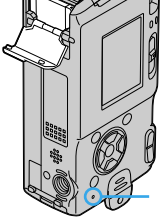
* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間について
画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」 19ページ



・記録枚数は、撮影状況によって異なります。


“メモリースティック”を取り出すときは
“メモリースティック”カバーを開け、“メモリースティック”を1回押す。



アクセスランプ点灯中は
絶対にバッテリーカバーや“メモリースティック”カバーを開けたり電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

5 簡単に撮る(オート撮影)

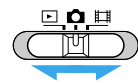
持ちかた




被写体をフレーム中央部におさめる。

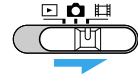
1 モードを選ぶ。


静止画(オート撮影)のとき

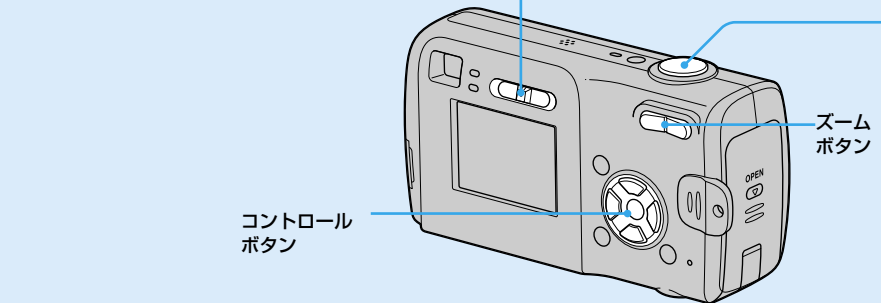


「」にする。

動画のとき



「」にする。



2 シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき

半押しして
ピント合わせ

AE/AF ロック表示
点滅 → 点灯

AF 測距枠

ピピッ

深く押し込む


カシャ

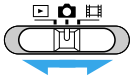
動画のとき

深く押し込む

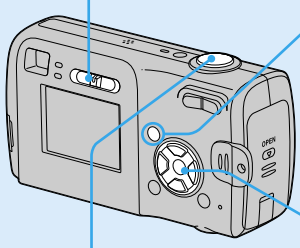
録画を止めるには、もう 1 度シャッターボタンを深く押し込む。

場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)

1 「」にする。




4 撮影する。





2 MENU ボタンを押す。

MENU




3 コントロールボタンで撮影モードを選ぶ。

1 ◀で「」(カメラ)を選ぶ。




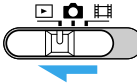
2 ▲/▼でシーンセレクションの撮影モードを選ぶ。




• 撮影モードについては、下をご覧ください。
• 選んだ設定は、電源を切ったあとでも保持されます。


6 画像を見る／削除する

1 「」にする。




2 ◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。



静止画の場合：画像サイズを表示
動画の場合：を表示

再生するには

●を押す。



再生バー

早送り/巻き戻し：◀/▶
(通常再生に戻るには●)
音量調整：▲/▼
再生中止：●

• 画像サイズ[160]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

コントロール
ボタン


Qボタン

再生バー

早送り/巻き戻し：◀/▶
(通常再生に戻るには●)
音量調整：▲/▼
再生中止：●

コントロールボタンの機能を使うには

静止画のフラッシュモードを選ぶ

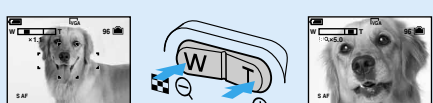


最後に撮った静止画を見る
(クイックレビュー)

測光の方法を選ぶ

セルフタイマーで撮る

ズームするには




• 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。
• レンズの倍率(3倍)を超えると[デジタルズーム]になります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」 40ページ

シーンセレクションを解除するには

▲/▼で[オート]または[プログラム]を選ぶ。

画像を削除するには

- 1 削除したい画像を表示して/◀(削除) ボタンを押す。
- 2 ▲で[削除]を選び、●を押す。




削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

最後に撮った静止画を見る (クイックレビュー)

コントロールボタンの◀(Q)を押す。
やめるには、もう 1 度◀を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、/◀(削除) ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(S)を押す。押すごとに、設定が変わる。



表示なし

光量不足/逆光と判別したとき発光
(お買い上げ時の設定)

強制発光


SL スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

発光禁止


- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側 約0.2～3.8m
T側 約0.5～2.1m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。


測光の方法を選ぶ

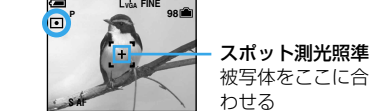
露出を自動で決めるとき、画面のどの部分で光を測る(測光)のか選びます。


スポット測光()：被写体の一部分に焦点を当てて測光します。逆光にある被写体や、背景とのコントラストが強いときに便利です。

マルチパターン測光(表示なし)：画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動的に調整します。

手順②の前に、メニューの「」(カメラ)を[オート]以外にする。→別冊「活用編・困ったときは」 22ページ

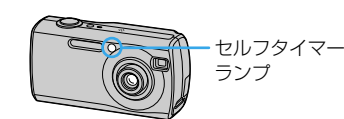
コントロールボタンの▶()を押す。
やめるには、もう 1 度▶を押す。



- スポット測光の場合、測光する場所とフォーカスを合わせる場所を一致させたいときは、 (フォーカス)を[中央重点 AF]にすることをおすすめします→別冊「活用編・困ったときは」 26ページ。

セルフタイマーで撮る

手順②の前に、コントロールボタンの▼(S)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピピピッ」と操作音が鳴り、約 10 秒後に撮影される。



静止画のピントがうまく合わないときは

- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AF ロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。


ピントが合いにくい被写体：

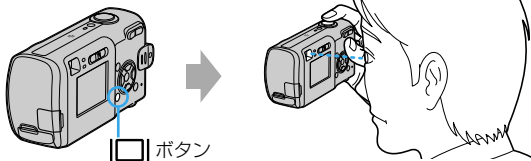
- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

画面の表示については

→別冊「活用編・困ったときは」 14ページ

液晶画面を消すには

 (画面表示/液晶画面オン/オフ) ボタンを繰り返し押す。電池の消耗を抑えたいときや、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダーを使ってください。



シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

スノーモード
白い風景を明るく撮る。



ビーチモード
海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。



風景モード
遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。



夜景&人物モード*
夜景をバックに、手前の人物を撮る。



夜景モード*
暗い雰囲気損なわずに、遠くの夜景を撮る。



ソフトスナップモード
人物や花などを、優しい雰囲気撮る。



キャンドルモード*
キャンドルライトの雰囲気損なわずに撮る。



* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順④で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ピピピと音が鳴ります。→別冊「活用編・困ったときは」 23ページ

拡大して見るときは(拡大再生)


静止画を再生中に Q ボタンを押すと、ズームできる。Q で戻る。

ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶

ズーム中止：●



• 拡大した画像を保存するには：[トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」 38ページ

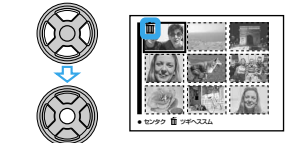
一覧(インデックス)表示で見るときは


 (インデックス) ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するとき

- 1 一覧表示中に/◀(削除) ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。
- 2 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して (削除)マークを付ける。



削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、 マークを消す。

3 /◀ (削除) ボタンを押す。

4 ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順 1 で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。